

令和3年度広島県立呉特別支援学校センターだより



# カメラリア Camellia

第4号

令和3年11月10日発行

—カメラリアは、ツバキ科の植物の総称です。呉市民の花はつばきであり、本校校歌の歌詞にも含まれています。—

朝晩が随分と寒くなってきて、秋の訪れを感じます。園や学校の幼児児童生徒たちは体調を崩していないでしょうか。寒暖の差に十分に気を付けていきたいですね。

今回の通信では、ある高等学校の先生のお話から気付いたことと、発達障害等のある幼児児童生徒の支援の参考になるサイトについて御紹介いたします。

## 子供の学習への意欲について

「学習性無力感」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。努力を重ねても自分が思うような結果が得られず、失敗することが続いてしまうと、「何をしてもできない」と何事に対しても意欲がわかなかったり、不快な状態を脱しようとする努力が

できなくなったりすることです。例えば、自分のとなりに友だちが座っていて、どれだけ話しかけても何も反応がなく、自分の方も見てくれないということであれば、話しかけることをやめますよね。

巡回相談で学校に行かせていただくと、学習についていくことができないために、授業中に友だちと話をしたり寝ていたりする子供たちがいます。このような子供たちの背景には、「どうせ勉強はわからないから」「何をやってもできないんだ」といった「学習性無力感」があるのかもしれない。

高等学校へ巡回相談に行かせていただいたときに、ある先生から学力が低い子供たちに、小学校の問題を解かせてみたことがあるという話を聞きました。高等学校の生徒からすると簡単な問題なので、100点や90点以上を何回もとることができました。生徒からは「100点や90点が取れると楽しい!」「私でもできる!」と言った発言があったそうです。この先生が行った取組は、学力が低い生徒の自己肯定感を向上させる取組であり、「学習性無力感」に対する支援の視点ということに気付きました。この内容を学校の授業で取り入れるならば、授業の最初に前回の授業の復習やこれから学ぶことに関係する簡単な問題を最初に問いて、子供たちの授業へのモチベーションを向上させるといったことが考えられます。生徒が必ず解けるような問題を自分の力や先生からのアドバイスで自分で解くことができたという達成感を子供自身が感じるものが大切です。

どうせ、できないから、授業は聞かないよ。



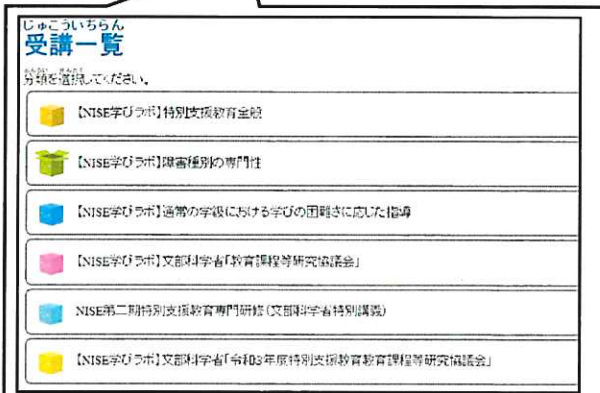
## 発達障害ナビポータル

こちらのサイトは、発達障害に関する安心かつ正確な情報の提供を目的に構築したポータルサイトです。障害の状態に応じた指導や合理的配慮等も掲載されています。(https://hattatsu.go.jp/)



## NISE 学びラボ

こちらのサイトでは、国立特別支援教育総合研究所が障害のある児童生徒等の教育に携わる教職員の資質能力向上を図る主体的な取組を支援するため、インターネットによる講義配信を行っています。登録をすることで講義を視聴することができます。色々な分野があるので、学校の研修としても利用できると考えます。ぜひ、御覧ください。(https://www.nise.go.jp/nc/training\_seminar/online)



広島県立呉特別支援学校

担当者:専任教育相談主任(特別支援教育コーディネーター) 山田裕一

住所:呉市焼山北3丁目 22-1

TEL:(0823)33-0300 FAX:(0823)33-0308